

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
23	23	市制施行記念式典	01	01	一般会計
基本施策	99		01	01	総務費
			01	01	総務管理費
			01	01	一般管理費
担当部課名		総務部 秘書課	103	103	秘書事務経費
作成者氏名	西岡幸彦	連絡先	22-9600(内線2010)	02	市制施行記念式典経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	市政功労者、善行表彰者等	市政功労者・善行表彰者等の表彰を行うことにより、事績を広く紹介し、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展にたいする市民の意識の高揚を図る。			
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市政施行記念式典或いは表彰式の開催 ・市政功労者の選定及び表彰 ・善行表彰者の選定及び表彰 ・特別市政功労者の選定及び表彰 				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市行政組織規則・伊賀市表彰規定

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	829	294
	委託料	400	0
	報償費	240	190
	需用費	163	44
	その他	26	60
合計(A+B)	1,549	1,014	1,014
③財源内訳(千円)	特定財源		
	国県支出金		
	受益者負担		
	その他特財		
一般財源	1,549	1,014	1,014
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
参加者数	人	400	160	80			
招待者数	人	1,035	400	200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
原則5年周期で式典を行い、他の年度は市政功労者等の表彰式のみとする。そのため、招待者の人員削減を図る。	原則記念式典は5年周期とするが、市政功労者等の表彰は毎年実施する。そのため5年周期以外の他の年度は、軽易な式典を毎年実施するが、招待者数の削減を図り、経費の削減に努める。	人	1,035 目標 (200)	400	200
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成16年11月の新市発足に伴い市制施行日に記念式典を挙げる。この式典は、原則5年周期に実施、他の年度は市政功労者等の表彰のみの式典とし、式を簡素化し、経費の節約を図る。

評価	必要性	4	合併後の市民の一体化を図る意味で有効な事業であるので継続し実施するが、招待者等を少なくし経費の削減を図る。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A